

地域安全ニュース

管内の治安情勢
令和7年5月末現在

- 1 前年比
- 2 地域別発生状況

手口	令和7年	前年同期	増減数
凶悪犯	2	2	0
粗暴犯	5	5	0
空き巣・忍込み	7	3	4
事務所・出店荒し	0	1	-1
侵入犯	11	6	5
自転車盗	19	16	3
車上ねらい	6	3	3
万引き	36	43	-7
非侵入盗	97	109	-12
詐欺等	8	10	-2
わいせつ等	6	3	3
その他の刑法犯	16	26	-10
計	213	227	-14

	凶悪犯	粗暴犯	空き巣・忍込み	事務所・出店荒し	侵入犯	自転車盗	車上ねらい	万引き	非侵入盗	詐欺	わいせつ	その他の刑法犯	計
飯坂幹部交番		2	1		5	4	2	3	23			3	43
笹谷交番	1		2		2	4	1	11	19	1		4	45
瀬上交番		3	4		4	9	2	18	43	3	3	6	95
茂庭駐在所													0
桑折分庁舎	1					1			1	2		2	7
伊達崎駐在所												1	1
藤田駐在所						1		4	8	1	3		17
大木戸駐在所							1		2				3
その他管轄不明									1	1			2
計	2	5	7	0	11	19	6	36	97	8	6	16	213

全国読売防犯協力会作成 防犯一口メモ

警察庁によると、2024年中の全国の交通事故死者数は、前年比15人減の2663人で、統計が残る1948年以降で過去3番目に少なくなりました。そのうち65歳以上の高齢者の死者数は、47人増の1513人で全体の56・8%と半数以上を占めています。

都道府県別では、東京が最も多く146人で4年ぶりのワースト、次いで、愛知、千葉、大阪、埼玉、神奈川、福岡、北海道、香川、兵庫、北陸、新潟、山梨、長野、岐阜、愛媛、高松、徳島、高知、佐賀、大分、熊本、鹿児島、沖縄の順です。最も多かったのは香川の9人で、次いで鳥取、高知の順となっています。

月別では、12月が最も多く、以降、10月、11月、8月の順となっています。

減少傾向にあるとはいえ、今後、日頃から一人ひとりが交通安全の順守に努めましょう。

交通事故死者数の状況

減少傾向にあるとはいえ、今後、日頃から一人ひとりが交通安全の順守に努めましょう。

交通安全一口メモ

厚生労働省が2024年10月に発表した「令和6年版自殺対策白書」によると、子どもの自殺が増えています。23年の10代女性の自殺死亡率は、減少に転じた10年に比べ著しく上昇し、小中高生の自殺者数は統計開始以来、最多となった22年に次ぐ513人でした。小中高生の自殺の原因・動機は、「家庭問題（しつけ・叱責、親子関係不和）」「健康問題（病気・うつ病・精神疾患）」「学校問題」が主で、最も多かったのは「学校問題」で、22年には、自殺者数の約半分以上を占めました。

（学業不振・学友との不和・進路の悩み）で、学年が上がるにつれて「男女問題」などが見られます。自殺防止には、日頃のコミュニケーションが大切で、常に聴く姿勢を持ち、兆し・異変に気がつくようになりましょう。また、自らは対処できない場合は、SNSやSNSダイアルでの相談や居場所の活用を教えるなど、社会全体で自殺をなくしましょう。

子どもの自殺をなくそう

異変に気がつくようになりましょう。また、自らは対処できない場合は、SNSやSNSダイアルでの相談や居場所の活用を教えるなど、社会全体で自殺をなくしましょう。

防犯一口メモ